

テーマ探究・ポスター発表の手引き（実験系）

H31(2019)/1/29

レイアウト例

模造紙 79×109cm

分野・班番号	タイトル	①ヘッダー情報
	代表に○	2019年3月14日
		船橋高校1年
		組・番・氏名 組・番・氏名
		組・番・氏名 組・番・氏名
②テーマ設定		
目的 (仮説)		結果
方法		
③方法・結果		④考察・結論
		考察
		結論 (今後の展望)
参考文献等		
感想・反省		
⑤フッター		

※印刷物を貼り付けてもよい。
※レイアウトはこの通りでなくてもよい。各自工夫する。
※サブテーマ（実験Ⅰ・Ⅱなど）ごとに③④をまとめても良い

作成上の注意（チェックリスト）

①ヘッダー情報

分野・班番号 タイトル 発表年月日 組・番・氏名（代表に○）

タイトルは最終タイトルか。仮タイトルのままではないか。

タイトルは内容を簡潔・明確に示しているか。漠然としていないか。

悪い例：○○について、○○の研究

気を引くためにわざと曖昧にしたタイトル、誇大なタイトル等

②テーマ設定

目的（仮説）を明確に書く。

学問的に意義のある問い（普遍性・一般性につながる問い）になっているか。

漠然としていないか。 悪い例：○○について調べる

③方法・結果

実験・観察の方法

使った器具や設定した実験条件等を記す。図や写真で示すと良い。

実験・観察の結果（データ）

実験により取得した事実データを記す。表やグラフにまとめると良い。

示すべき実験条件をみれなく記しているか。

数値の単位を示しているか。

グラフの種類は適切か。グラフの横軸・縦軸は明記されているか。

実験の試行回数を示しているか。誤差の範囲を示しているか。

④考察・結論

データを様々な角度から考察し、導き出した結論を記す。

必ずしも一つの結論に収斂しない場合は、いくつかの可能性を記しても良い。

明確な結論に至らない場合、自分達なりの推測等でも良いが、その場合でも、十分に考察を深めること。

単なるデータの説明に終わっていないか。

実験結果（データ）と結論が論理的につながっているか。

データのバラツキの原因が考察されているか。測定誤差か、現象自体のバラツキか。

⑤フッター

参考文献（引用ではない）・・・特に参考にしたものがあつた場合のみ。

感想反省・・・探究の過程で気づいたこと等。

全般的なチェックリスト

必要な事柄を過不足なく示しているか。研究の全体像や重点が把握しやすいか。

キーワード等を中心にした、簡潔な書き方になっているか。長文はNG。

図・写真等を活用して、分かりやすく表現しているか。

相手の方を見ながら説明できるか。ポスターや原稿の棒読みはNG，メモを見る程度はOK。

想定される質問の答えを予め考えているか。